

# Job

## Chapter 37

Japanese Interlinear

Reference: Japanese Kougo-yaku (1954/1955)

מִמְקוֹמוֹ : אֶרֶץ לִזְאוֹת יִתְקַדַּר לְבִי וְיִתְרַד 1  
その-場所から そして-跳ねる 私の-心は おののく これに また  
H4725 H2729 H2063 H0637

これがためにわが心もまたわななき、その所からとび離れる。

שָׁמְעוּ : מִפִּי קוֹל בְּרִינָה שָׁמְעוּ וְשָׁמְעוּ 2  
出る 彼の-口から そして-とどろきを 彼の-声を 怒りの よく-聞け 聞け  
H3318 H6310 H1899 H7267 H8085 H8085

聞け、神の声のとどろきを、またその口から出るささやきを。

תַּחַת- : עַל- כְּנֹפֹת הָאָרֶץ : וְאוֹרוֹ יִשְׂרָהוּ הַשָּׁמַיִם כָּל- תַּחַת- 3  
地の 果てまで 地の-果てまで そして-彼の-稲妻を 放つ 天の すべての すべての-下に  
H0776 H3671 H0216 H3474 H8064 H3605 H8478

彼はこれを天が下に放ち、その光を地のすみずみまで至らせられる。

וְאַחֲרָיו : וְשָׁאֵג- קוֹל יָרַעַם בְּקוֹל וְלֹא יִעֲקֹבֵם 4  
抑えない そして-抑えない 彼の-威光の 声で 雷鳴らす 声が とどろく-声が その-後に  
H6117 H3808 H1347 H7481 H7580

כִּי- : קוֹל- יִשְׁמַע 5  
彼の-声が 聞こえる 聞こえる-とき  
H8085

その後、声とどろき、彼はそのいかめしい声をもって鳴り渡られる。その声の聞こえる時、彼はいなずまを引きとめられない。

יָרַעַם : אֵל בְּקוֹלוֹ נִפְלְאוֹת עָשָׂה גְדֹלוֹת וְלֹא 5  
雷鳴らす-神は 神は 彼の-声で 不思議を 行う-方 大いなる-ことを そして-知り得ない  
H3808 H6381 H0410 H7481

יָרַעַם :  
私たちには  
H3045

神はその驚くべき声をもって鳴り渡り、われわれの悟りえない大いなる事を行われる。

כִּי : וְלִשְׁלַג יֹאמֵר הוּא יִתְּנֵם אֶרֶץ וְגַשְׁמִים וְגַשְׁמִים מִטָּר וְגַשְׁמִים מִטָּר עָזוּ 6  
まことに 雪に 命じる 地に 降れと 命じる 雨に そして-雨に 雨に そして-雨に 彼の-力の 大雨に  
H5797 H4306 H1653 H4306 H1653 H0776 H0559 H7950

彼は雪に向かって『地に降れ』と命じ、夕立ちおよび雨に向かって『強く降れ』と命じられる。

כִּי- : כָּל- אָדָם יִחַתֵּם לְדַעַת כָּל- אֲנָשִׁי מֵעֲשָׂהוּ 7  
すべての 人の すべての すべての 知るために 封じる 人々の 彼の-わざを  
H4639 H0376 H3605 H3045 H2856 H0120 H3605 H3027

彼はすべての人の手を封じられる。これはすべての人にみわざを知らせるためである。

וַתָּבֵא : בְּמִוְנוֹתָיָהּ אָרַב בְּמִוְנוֹתָיָהּ תִּשְׁכֵּן 8  
獣は 隠れ家に その-隠れ家に 隠れ家に 留まる  
H7931 H4585 H0695 H1119 H0935

その時、獣は穴に入り、そのほらにとどまる。

מִן־הַחֹדֶר תָּבוֹא סוּפָה וּמִמְזָרִים קָרָה׃  
南から 内室から 嵐が 来る 寒さが そして-北風から  
[H0935](#) [H2315](#) [H7135](#) [H4215](#)

つむじ風はそのへやから、寒さは北風から来る。

מִנְשַׁמַּת־אֵל יִתֵּן קָרָח וְרַחֵב מַיִם בְּמוֹצָק׃  
神の 神の-息吹きで 氷が 与えられる 氷が 与えられる 水の 凍った  
[H0410](#) [H5397](#) [H7140](#) [H5414](#) [H7341](#) [H4325](#) [H4164](#)

神のいぶきによって氷が張り、広々とした水は凍る。

אֶרֶץ־בְּרִי יִטְרִיחַ עָב וְיִפִּיץ עָנָן אֹרֶז׃  
また-潤いで 潤い 雲を 重くする 雲を まぎ散らす 彼の-稲妻の  
[H0637](#) [H7377](#) [H2959](#) [H5645](#) [H6051](#) [H0216](#)

彼は濃い雲に水気を負わせ、雲はそのいなづまを散らす。

וְהוּא וּמִסְבּוֹת מִתְהַפֵּךְ ]בתחבולתו[ (בְּתַחְבּוּלָתוֹ) לְפַעֲלָם כָּל  
そして-それは 巡りながら 向きを-変える 彼の 導きに-よって 行つために すべてを  
[H1931](#) [H4524](#) [H2015](#) [H8458](#) [H8458](#) [H3605](#) [H6467](#)

אֲשֶׁר וּצְוִים עַל־פְּנֵי תֵבֵל אֶרֶצָה׃  
彼が 命じることを 地の-表の-上で 表の 世界の 地の  
[H6680](#) [H6440](#) [H8398](#) [H0776](#)

これは彼の導きによってめぐる。彼の命じるところをことごとく世界のおもてに行つためである。

אִם־לְשִׁבְטֵי אִם־לְאֶרְצוֹ אִם־לְחֹדֶד אִם־לְמִצְאֵהוּ  
あるいは-彼の 復の あるいは-憐れみで あるいは-憐れみで 憐れみで 村で  
[H7626](#) [H0776](#)

וְיִמְצְאֵהוּ  
それを-行わせる  
[H4672](#)

神がこれらをこさせるのは、懲しめのため、あるいはその地のため、あるいはいつくしみのためである。

הֲאִזְנִיחַ זָאת אֵיבֹב עֲמֹד וְהִתְבּוֹנֵן נִפְלְאוֹת אֵל׃  
耳を-傾けよ これに ヨブよ 立ち止まれ そして-思い巡らせ 不思議を 神の  
[H0238](#) [H2063](#) [H0347](#) [H5975](#) [H0995](#) [H6381](#) [H0410](#)

ヨブよ、これを聞け、立って神のくすしみわざを考えよ。

הֲתָדַע בְּשׁוּם־אֱלֹהִים עַל־יָהּ וְהוֹפִיעַ אֹרֶן עָנָן׃  
知っているか 神が-定める-とき 神が 神が 神の-上に 輝かせることを 彼の-雲の 光を  
[H3045](#) [H0433](#) [H3313](#) [H0216](#) [H6051](#)

あなたは知っているか、神がいかにこれらに命じて、その雲の光を輝かされるかを。

הֲתָדַע עַל־מִפְלְשֵׁי־עָב מִפְּלֹאוֹת תְּמִים דְּעִים׃  
知っているか 釣り-合いを 釣り-合いを 雲の 不思議を 完全なる-方の 知識の  
[H3045](#) [H4657](#) [H5645](#) [H4652](#) [H8549](#) [H1843](#)

あなたは知っているか、雲のつりあいと、知識の全き者のくすしみわざを。

אֲשֶׁר־בְּגָדֶיךָ חֲמִים מְדָרוּם אֶרֶץ מִדְּרֹם׃  
あなたの 衣が 温かい-ことを 静める-とき 地を 南風で  
[H2525](#) [H8252](#) [H0776](#) [H1864](#)

南風によって地が穏やかになる時、あなたの着物が熱くなることを。

18 תְּרַקִיעַ עִמּוֹ לְשָׁחֲקִים חֲזָקִים כְּרָאִי מוֹצֵק: 18  
 広げられるか 彼と-共に 大空を 固い 鏡の-ように 鑄造の  
[H7554](#) [H3045](#) [H7834](#) [H2389](#) [H7209](#) [H3332](#)

あなたは鑄た鏡のように堅い大空を、彼のように張ることができるか。

19 הוֹדִיעֵנוּ מַה־ נֹאמֵר לוֹ לֹא־ נִעְרָד מִפְּנֵי־ חֶשֶׁד: 19  
 教えてください-私たちに 何を 言うべきか 彼に 整えられない 闇の-ために 闇の  
[H3045](#) [H4100](#) [H0559](#) [H3808](#) [H6440](#) [H2822](#)

われわれが彼に言うべき事をわれわれに教えよ、われわれは暗くて、言葉をつらねることはできない。

20 הִסְפֵּר־ לוֹ כִּי אֲדַבֵּר אִם־ אָמַר אִישׁ כִּי 20  
 告げられるべきか 彼に 私が-語ると 私が-語ると もし-人が 言ったなら 人が 確かに  
[H1696](#) [H0559](#) [H0376](#)

יִבְלַע: 20  
 飲み込まれるだろう  
[H1104](#)

わたしは語ることがあると彼に告げることができようか、人は滅ぼされることを望むであろうか。

21 וְעַתָּה לֹא־ רָאוּ אֹר־ בְּהִיר־ הוּא בְּשָׁחֲקִים וְרוּחַ עָבְרָה 21  
 しかし-今 見えない 見えない 光は 明るく それは 雲の-中に しかし-風が 通り過ぎて  
[H6258](#) [H3808](#) [H7200](#) [H0216](#) [H0925](#) [H1931](#) [H7834](#) [H7307](#)

וַתִּטְהַרֶם: 21  
 清めた  
[H2891](#)

光が空に輝いているとき、風過ぎて空を清めると、人々はその光を見ることができない。

22 מִצְפּוֹן זָהָב יָאֲתָה עַל־ אֱלֹהֵי נוֹרָא הוֹד: 22  
 北から 金の-輝きが 来る 神の-上に 神の 威光が-ある  
[H6828](#) [H2091](#) [H0857](#) [H0433](#) [H3372](#) [H1935](#)

北から黄金のような輝きがでてくる。神には恐るべき威光がある。

23 וְרַב־ לֹא־ מִצְאָנְהוּ שְׂרִי וּמִשְׁפָּט וְרַב־ 23  
 全能者を 見いだし得ない 見いだし得ない 力に 力に-おいて 力に そして-大いなる そして-公正と  
[H7706](#) [H3808](#) [H4672](#) [H7689](#) [H4941](#) [H7230](#)

יְעִנָּה: 23  
 彼は 曲げない 義において  
[H3808](#) [H6666](#)

全能者は&#x2015;&#x2015;われわれはこれを見いだすことができない。彼は力と公義とにすぐれ、正義に満ちて、これを曲げることはない。

24 לָכֵן יִרְאוּהוּ אַנְשִׁים לֹא־ יִרְאֶה כָּל־ חַכְמַי־ לֵב: פּ 24  
 それゆえ 人々は-彼を 焔れる 彼は 見つめない すべて之-賢い 心-者を 心の  
[H3372](#) [H0376](#) [H3808](#) [H7200](#) [H3605](#) [H2450](#)

それゆえ、人々は彼を恐れる。彼はみずから賢いと思う者を顧みられない」。